

内科医（健診システム）

美並 真由美

MAYUMI MINAMI



《ドック・健診と生活習慣病》

土曜日のドック・健診の問診を担当している美並真由美です。

大阪市立大学医学部を卒業後、同大学第一内科に入局し、循環器内科・腎臓内科の診療をしました。その後、東京大学第二内科に入局、腎臓・高血圧の診療および研究をしてきました。同時に、糖尿病・高脂血症（脂質異常症）の診療も行ってきました。

近年、日本では生活習慣病への関心が強くなっています。当院のドック・健診受診者のなかにも高血圧症・糖尿病・高脂血症（脂質異常症）など生活習慣病を指摘されている、あるいは治療中の方が増えています。

これらの疾病は、初期の段階では特には自覚症状がないので、治療されずに放置されることが多いのですが、長期にわたって未治療のままですと動脈硬化や臓器傷害が進行し、心筋梗塞、脳梗塞、慢性腎臓病・腎不全などの深刻な合併症を引き起こす危険があります。

そうならないためにも、毎年のドック・健診の受診と、生活習慣病についてだけでなく、他の疾患についても、精査・治療の必要を指摘された場合には放置せず、医療機関を受診して頂くことをお願いしたいと思います。